

# ボーベリアバシアーナ乳剤を利用したトマトのうどんこ病とタバココナジラミ同時防除

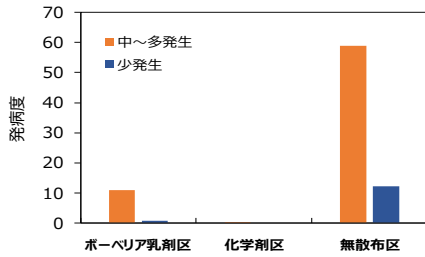
利用対象：トマト生産者、指導

施設栽培トマトでは薬剤耐性菌や抵抗性害虫が問題となっており、病害虫の化学的防除が困難となっています。その打開策として、本研究では、微生物殺虫殺菌剤のボーベリアバシアーナ乳剤を利用したトマトうどんこ病とタバココナジラミのデュアルコントロール（病害虫同時防除）技術の有効性について検討しました。

## ①病害に対する防除効果



トマトうどんこ病



ボーベリア乳剤は、トマトうどんこ病少発生条件で高い防除効果を示す

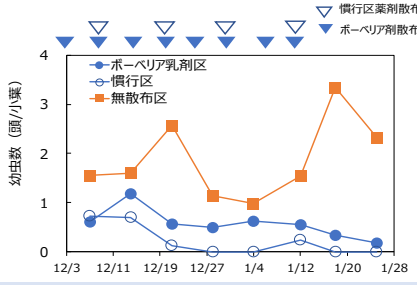
## ボーベリア乳剤の散布により

- ① ②病害虫の同時防除（デュアルコントロール）が可能
- ③一部化学殺虫剤との混用でコナジラミに対する防除効果が相加的に向上

## ②虫害に対する防除効果

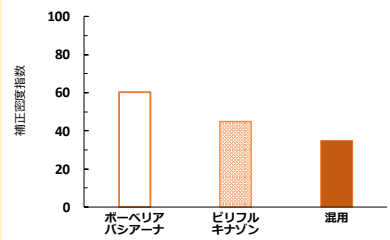


タバココナジラミ



ボーベリア乳剤の1週間間隔複数回散布でコナジラミ類の密度を抑制

## ③化学殺虫剤との混用による防除効果向上



一部の化学殺虫剤との混用でコナジラミに対する防除効果が相加的に向上する

## ボーベリア乳剤を用いた効果的な防除体系（トマト抑制長期栽培の場合）

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
抑制長期栽培	定植		収穫	→ 栽培終了								
ボタニガードES散布時期		高温期	1週間間隔3回以上散布						1週間間隔3回以上散布			
薬害発生高リスク時期	←→				←→							
ウイルス病重点防除時期	←→		コナジラミ成虫の侵入が多い時期		夕方以降の薬液が乾きにくい時間帯							
コナジラミ類発生時期	←→							←→				
うどんこ病発生時期		←→						←→				

←→ ボタニガードESの散布を避ける時期    ↔ コナジラミ、うどんこ病発生時期

### <防除のポイント>

- トマトうどんこ病とコナジラミ類は多発すると防除が難しくなるため、少発生の時から散布してください。
- 8月～9月の高温期や薬剤の乾きにくい冬期は薬害のリスクがあるため散布を避け、コナジラミ類とうどんこ病が問題となる10月～11月、4月～6月に1週間間隔で複数回散布してください。

お問い合わせ先	基盤技術研究室農産物安全安心研究課 川上拓 電話 0598-42-6360 中央農業改良普及センター 中村元彦 電話 0598-42-6323
参考になる資料	「微生物殺虫・殺菌剤を用いたデュアルコントロール技術マニュアル」